

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 3 月 26 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4692600010号
法人名	社会福祉法人 恵愛会
事業所名	グループホーム「このゆびとーまれ」
所在地	鹿児島県南九州市知覧町永里4577番地の2 (電話) 0993-83-1015
自己評価作成日	平成22年3月26日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年4月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

笑い声があふれ、入居者同士や入居者と職員の会話がいつも聞こえる明るいグループホーム。入居者は、いつでも遠慮なく気持ちをぶつけることができる。歩行が難しくなっても車椅子は出来るだけ使用せず、自力歩行を支援している。入居者と職員の異動は少なく、継続した信頼関係ができています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

知覧町の郊外にあり、介護老人福祉施設、通所介護などを併設して地域の高齢者福祉を担ってきた。みんなに寄ってきてほしい、遊びに来てほしい、一本の指につかまってほしいとの思いで「このゆびとーまれ」の名前がつけられたグループホームである。開設して3年、職員全員で試行錯誤しながら災害対策、個別支援、環境作りなど利用者の安全で安心した暮らしの確保と信頼関係作りに取り組んできた。全居室にテラスを設け、転落防止のための手摺の一部が開くように工夫され、すぐに広い園庭に避難できるように避難経路の確保のための改善や、個別支援の取り組みとして、職員の支援があれば自立に結び付くことをプランに入れ、現状に即した分かりやすい内容の本人本位の介護計画を作成している。また、モニタリングも職員全員で行い、本人の思いや意向、家族からの意見、職員から出されたアイデアなどを反映させてチームとして取り組んでいる。運営推進会議も充実しており、ほとんどの家族が毎回出席して、家族からの意見・要望、ホームとしての改善課題などが話し合われ、運営者、家族、地域が一体となってホームの運営に関わっている。職員の離職も少なく、運営に関する職員の意見も反映されており、ミーティングやケア会議などで職員は活発に意見を出し合い、常に質の向上に向けて意欲を持って取り組んでいる。前回の外部評価での改善点は全て改善に至っており、運営者、管理者、職員の信頼関係が構築され、充実した運営がされているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着サービスを意識した理念がある。来訪者や職員の目に触れやすい場所に提示しており、ミーティングや運営推進会議で確認し合っている。	理念に4つの項目を掲げて、地域とのふれあいの大切さを謳った地域密着型サービスとしての文言の理念をもちこんでいる。管理者、職員はミーティング時や運営推進会議で理念を確認している。また、理念を玄関、台所、ホール、職員用トイレに掲げ、目に触れやすくしている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	学童保育所との定期的な交流、中学、高校生の職場体験受け入れ、地域行事への積極的参加などで地域交流を図っている。	広い園庭を地域のゲートボール場に開放して、知り合いがホームに遊びにきたり、中学生の職場体験学習の受け入れや毎月、小学校の学童保育の子ども達との交流会も行っている。地域行事の菜の花祭り見学や初詣、二日市見学にも出かけるなど地域交流に取り組んでいる。	
3		事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	人材育成のための実習生、ボランティアの受け入れを積極的に行っている。入居申込み当の来訪者に対して、認知症の症状や支援について積極的に伝えている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	常に多くの出席者があり、活発な意見が聞かれる。施設の状況についてはすべて公開しており、評価についても必ず報告している。	毎回、家族の参加も多数あり地域代表、行政関係者、苦情処理員、職員も交代で参加するなど地域、家族、職員が一体化してサービス向上に向けた話し合いが行われている。学童保育との交流会も運営推進会議で出された意見により定期的な交流が実現している。今後は外出についての助言や終末期ケアについての同意書作成についてなど話し合っていく予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市の福祉課の窓口を折りに触れて訪問し、質問や相談をしてアドバイスを受けている。</p>	<p>介護サービスについての相談や指導を受けたりと機会を捉えては連携に努めている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束についての研修を行い、職員が具体的な行為について理解を深めている。玄関にはチャイムを設置して、鍵なしでも安全を保つよう努めている。</p>	<p>高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会をホーム内研修で毎年行って職員の共有意識を図っている。玄関の施錠については家族の了承のもと、職員が手薄のときや危険を伴う場合は施錠することもある。リビングから通じるテラスへの出入り口は避難経路でもあるため24時間施錠はしていない。また、ヒヤリハット事例についても運営推進会議を利用して報告し、意見交換を行っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止法についての定期的な学習を計画している。市職員の何気ない言動が虐待につながることはないよう、注意しあっている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>機会のあるごとに、職員に説明を行っている。昨年度は家族の希望により、制度利用に向けての支援を行った。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に、利用者、家族との面談の時間を十分に取り、信頼関係を築くように努めている。質問や相談はいつでも応じることを説明している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月の支払の際に職員と家族が面談し、意見や要望を聞き取っている。運営推進会議には毎回多くの家族が参加し、意見交換している。</p>	<p>開設当初からの職員、利用者が多く職員と家族の信頼関係が築かれており、毎月の支払時や受診のための来訪時、運営推進会議後のくつろぎタイムで意見や要望を聞き出すようにしている。出された意見、要望については職員全員で話し合っ運営に反映させている。また、利用者からは日常の会話や夕食後にゆっくりとお茶を飲みながら話をするなどして意見、意向を聞き取るようにしている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日常の申し送りやミーティングの際に活発な意見交換がなされ、合意事項は直ちに運営に反映させている。</p>	<p>申し送り時や毎月のミーティングで職員から活発な意見や提案が出る。ケアについても本人にとって最良の方法を職員と検討してサービス向上に活かしている。また、代表者は頻りにホームを訪れて職場環境の把握に努めている。利用者の受け入れについては事前に職員に情報を提供している。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は頻りに現場を訪れ、職場環境の把握に努めている。職員との良好なコミュニケーションが保たれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が法人内外の研修に参加できるよう、勤務体制等でバックアップしている。また、資格取得を職場全体でバックアップしている。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部の研修に積極的に参加を勧めている。地区のグループホーム協議会等にもできる限り参加するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>デイサービスやショートステイの機会を利用したり、家庭や入院先を訪問したりして、利用前に本人となじみの関係を作るよう努めている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>申込の段階から利用開始まで何度も家族と面談し、じっくり話をする機械を作っている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居の申し込みや相談を受けたときにじっくり話を聞き、必要に応じて他のサービスを紹介している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>夕食後などに、入居者と職員がゆっくりお茶を飲みながら、思い出話をしたり歌をうたったりする時間を設けている。料理や漬物を習うことも多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月の支払時や受診のための訪問時に職員が家族と面談し、家族の要望や思い、施設の考え方など話し合っている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者の希望に応じて、美容院や帰宅を支援している。親戚や知人の訪問はいつでも歓迎し、ゆっくり過ごせるよう配慮している。</p>	<p>ゲートボールに来た地域の知人が遊びに来たり、本人の希望でお墓参りに行くなど、なじみの人や場との関係継続の支援に努めている。また、家族や知人にいつでも電話が出来るように支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士のかかわりに気を配り、職員が間に入ることによって人間関係がスムーズになるよう支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>法人内の特養に移られた方と、行事など機会あるごとに交流している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用開始時に本人や家族、担当ケアマネ等から希望を聞き取り、介護計画に生かすよう努めている。</p>	<p>口頭で思いや意向を言ってくれる利用者が多いが、困難な方は家族や関係者からの情報や本人の表情や言動から把握して本人本位に検討している。ケア記録で職員は情報を共有している。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用開始前から継続して、本人や家族から聞き取りを行い、スタッフ間で情報を共有している。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日勤者、夜勤者で注意深く見守りを行い、申し送りや正確な記録に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族との日常的な関わり合いから課題を抽出し、介護計画に反映させるようつとめている。職員みんなでモニタリングし、介護計画を見直している。</p>	<p>個々のケアプラン年間予定表を作成して2ヵ月ごとに職員全員でモニタリングを行っている。本人、家族の思いや意向、職員の意見などを反映させて分かりやすいサービス内容の介護計画を作成している。また、自立に向けた職員の支援のあり方をプランに盛り込み、現状に即した本人本位の介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日勤者に生活状態の情報を集め、記録している。職員は記録に目を通し、ケア会議やミーティングで情報を共有し合っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の希望や家族の状況に応じて、受診付き添い、外出援助、買い物代行など柔軟に対応している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議に地域の代表者の出席を依頼し、入居者、家族と交流していただいている。定期の避難訓練に消防署の指導をお願いしている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医の選択や受診の形態は、ご本人と家族の希望に従っていく。必要に応じて職員が付き添いや情報提供を行っている。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医の受診支援を行っている。必要に応じて職員が代行しているが、家族が連れていく際はホームより情報提供書を持たせ、病院からは診療情報提供書ももらって情報を共有し、かかりつけ医との関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>2週間に1回の訪問看護で訪問看護師と情報交換し、日常のケアや受診につなげている。訪問看護師は入居者の状況をよく把握している。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院後1週間をめどに医療機関と情報交換をおこない、早期退院を支援している。入院受け入れ病院とは、往診、訪問看護等を通じて信頼関係ができている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化対応指針を作成し、必要に応じて家族や医療機関と共同している。緊急時の対応についてはつねに家族と連携をとれるよう努めている。</p>	<p>運営推進会議や面会時などに家族に方針を説明して意思を確認している。記録にとっているが今年度は同意書をもらうように取り組んでいる。ホーム内研修において重度化、ターミナルケアの勉強会を行っており、職員も方針は共有している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを作成し、全員が消防署の救急救命訓練を受講している。その後も交代で訓練を受講し、緊急事態に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の法人合同災害避難訓練のほか、グループホーム独自の夜間対応の避難訓練を行っている。法人全体で地域の協力を得る体制が整っている。</p>	<p>ホーム独自の夜間想定避難訓練が活かされて職員の不安軽減につながっている。テラスの転倒防止のさくを避難用に一部開けられるように工夫して避難経路の確保をするなど改善し、一箇所だけ鍵をかけた出入口を設けるなどしている。今年度は通報システムの設定も計画している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人のプライドを傷つける介護をしていないが、ミーティング等の場で確認しあっている。記録等は入居者や第三者の目に触れないよう管理している。	個々に合わせた声かけや自己決定を促す言葉かけに努め、対応に配慮している。また、プライバシー保護についての勉強会を行い、個人情報の取り扱いについて管理を徹底している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の利用者にあわせた声かけを行い、利用者それぞれの希望を汲み取れるよう努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、できるだけ時間を区切らず、利用者のペースに合わせるように努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者は好きな服を自由に着用している。できない方には本人の希望に沿うよう援助している。行きつけの美容院利用を支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューに利用者の好みを取り入れるよう勤め、準備、片付けは基本的に一緒に行っている。	準備や調理、片づけなど積極的にしてくれる利用者が多いため、当番表を作成して利用者は日々の役割分担を確認している。また、台所に大きなテーブルといすを置き、利用者が手伝いやすいように工夫している。ときには外食を楽しんだり、お弁当持参で公園に出かけることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事、水分の摂取量を個別に記録し、主治医や管理栄養士と連携して、食事をしっかり取れるよう支援している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>一人ひとりの状態に応じて、口腔ケアの支援を行い、必要に応じて医療機関の受診を支援している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>必要に応じて排泄チェック表や記録表を利用、タイミングを見計らったトイレ誘導で失禁や臭気を防いでいる。</p>	<p>個々の排せつチェック表を作成して排せつパターンを把握するまでは細かく時間を記録しトイレ誘導のタイミングを掴んでいる。おむつ使用はせず、排せつの自立に向けた支援を行っている。失禁などの臭気に対する対処や清拭、洗浄で常に清潔を保っている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取に気をつけ、必要に応じて食物繊維を添加し、便秘症の利用者にはなるべく動いてもらうなど、便秘予防に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には1日おきの入浴となっているが、本人の状況や希望に応じて柔軟に対応している。	個々の状態に応じて対応している。毎日入浴の利用者もいる。浴室が2箇所あり夏場はシャワー浴で毎日対応している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は出来るだけ起きて活動していただき、状況に応じて昼寝もしていただく。夜は暖かい飲み物を出したり、ラジオや雑誌の居室持ち込みを勧めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をケース記録に挟み込んであり、常に確認している。薬の変更は申し送りとケース記録に記載し、全員が把握している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	縫い物や編み物、折り紙など利用者の得技を生かして、日用品や飾りを手作りしている。歌や踊りも楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>個別の希望にできるだけ添えるよう努めている。外出の機会を増やし、気分転換を図るとともに、家族に外出の支援をお願いしている。</p>	<p>天気のいい日は散歩や買い物、ドライブなどで戸外にでかけられるように外出支援を行っている。また、個々の希望により動物園への遠足や自宅訪問、お墓参りにでかけることもある。年間の行事計画にも食事会や遠足、水車からくり見学、二日市見学、ソーメン流し、初詣などを取り入れている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望や力に応じて、手元にお金を所持されている。事業所で預かっている場合も、外出の際など自分で買い物され、支払もされるよう支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や知人にいつでも電話できるよう支援している。話が通じにくい場合などは職員が間に入ってフォローしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間には季節の飾りつけをし、自然の光を取り入れて快適な空間を作るよう努めている。</p>	<p>建物の周りの広いテラスにはどこからでも出入りが出来、園庭の桜の木や山あいの景色を眺めるだけで四季を感じることができる。畳の居間は冬場はホットカーペットが敷いてあり利用者のお気に入りの場所である。身体状況に応じて随所に手すりを設けており、利用者がつかまり立ちしやすいように配慮している。ホーム内に事務所として部屋は設けず、家庭的な雰囲気を壊さないようにリビングの一角に職員用の待機場所を設けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール、ベランダ、玄関、台所、和室などの共有空間のすべてにゆっくり腰掛けられる設備があり、思い思いの場所で過ごすことができる。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者は好みに応じて居室の飾り付けや配置をされている。和室も利用者好きなように家具の配置や飾りつけをしている。</p>	<p>各居室はテラスに面しており、開放的で明るい。ドアは木目調で温かみがある。イス、タンス、家族の写真、飾り物、加湿器などが置かれ、ラジオを聞きながら寝るのが日課の利用者もいる。ポータブルトイレは昼間はテラスに出し、清潔感がある居室の配慮がされている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室は個々の状態に合わせたわかりやすい配置にして、必要に応じて手すりを設置している。トイレや浴室も自立と安全に配慮した作りとなっている。</p>		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

鹿児島県 グループホームこのゆびとーまれ

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

鹿児島県 グループホームこのゆびとーまれ

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1	ほぼ全ての職員が
		2	職員の2/3くらいが
		3	職員の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての家族等が
		2	家族等の2/3くらいが
		3	家族等の1/3くらいが
		4	ほとんどいない